

## B—8 中学校・高等学校における衣服型紙の寸法に関する一考察

東京都立武蔵丘高 ○高部 和子  
東京都立深沢高 武井 洋子

1. 昨今中学校・高等学校における型紙教育も地についてきたが、型紙の選択・取り扱い方などについては、まだいろいろの問題が残されている。今回は中学校・高等学校の教科書および型紙に用いられている衣服寸法を中心として二・三の考察を試みた。

2. 3. 教科書・指導書および型紙について、中学校用11社、高等学校用6社で用いている採寸方法ならびに衣服寸法を分類整理した。衣服寸法については、お茶の水女子大学教授柳沢澄子氏の実測資料（1956年～59年調査）を拝借し、これを基準として比較検討をおこなった。

採寸方法については、一般に不統一であることが明らかになった。衣服寸法についても、サイズの呼称・種類・間隔いづれも不統一であり、また実測値との比較においても体型上の差異がみられる。これらのことは、指導上・学習上混乱を起しやすいため、ある程度統一する必要があると思われる。なお、今回用いた実測値は、数年前のデータであり、調査は東京都に限られているので、さらに全国的な現状調査をおこない、中学校・高等学校・成人を対象として、一貫した基準を設定することが、型紙教育の推進上必要であろう。